第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-①

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱１．複合的な課題に対応できる地域包括ケアシステムの推進		柱の達成状況（計画期間）	－

柱の数値目標、指標		目標値（計画期間）			実績値（計画期間）		
	①生活支援体制整備事業の実施と地域活動団体の育成（活動団体数）	活動団体数 R6：20団体 R7：22団体 R8：24団体			活動団体数 R6： 12団体 R7：11団体 R8：-団体		
	②高齢者見守り支援ネットワークの充実（対象高齢者数・見守推進員数・協力事業所数）	対象高齢者数 R6：80人 R7：85人 R8：90人	見守推進員数 R6：180人 R7：185人 R8：190人	協力事業所数 R6：480人 R7：485人 R8：490人	対象高齢者数 R6： 87 人 R7：81人 R8：-人	見守推進員数 R6： 154 人 R7：149人 R8：-人	協力事業所数 R6： 453か所 R7：443人 R8：-人

施策の項目1：地域包括支援センターの充実と重層的・包括的な相談・支援体制の構築

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
1102　地域ケア会議の推進 【在宅支援係】	地域ケア会議は、高齢者個人への自立支援の充実とそれを支える社会基盤の整備を同時に進める多職種協働による会議です。地域包括ケアシステムを実現するための有効な手段として積極的に活用します。 具体的には、地域包括支援センター主催による個別会議等の地域ケア会議と生活支援体制整備事業を連動させ、抽出された様々な地域課題を市の施策形成へとつなげる仕組みを構築します。 また、自立支援・介護予防の観点による地域ケア会議を開催し、関係者のケアマネジメント力の向上を目指すとともに、地域で最期まで自分らしく暮らすことができるよう高齢者の自立を支える地域づくりを進めます。 加えて各担当者の困難事例を平準化させ支援技術の質の向上のため学識経験者の助言による地域ケア合同会議を開催します。 高齢者だけではない「複合的な事例」（高齢者と家族の課題、8050問題等）については、各関係部署、関係機関と連携し、学識経験者、有資格者等も加えた検討支援会議を行うことで対応していきます。	―	地域ケア個別会議4回、地域ケア合同会議3回、自立支援・介護予防のための地域ケア会議を6回開催。 地域課題や、高齢者の個別支援について、多職種が協働して話し合い、関係者のケアマネジメント力の向上を図るとともに、地域で最期まで自分らしく暮らすことができるよう高齢者の自立を支える地域づくりを進めた。 抽出された地域課題を市の施策形成へとつなげられるよう、生活支援体制整備事業との連動を図った。	地域ケア個別会議5回、地域ケア合同会議2回、自立支援・介護予防のための地域ケア会議を6回開催。 地域課題や、高齢者の個別支援について、多職種が協働して話し合い、関係者のケアマネジメント力の向上を図るとともに、地域で最期まで自分らしく暮らすことができるよう高齢者の自立を支える地域づくりを進めた。 また、抽出された地域課題を市の施策形成へとつなげられるよう、生活支援体制整備事業においてもアドバイザーを招き、地域ケア会議と一層の連動を図った。	―

施策の項目3：地域の支え合い体制の整備・充実

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
1301　生活支援体制整備事業の実施と地域活動団体の育成 【在宅支援係】	生活支援体制整備事業は、暮らしやすい地域づくりのために、生活支援ニーズ（困りごと）の把握、地域資源の開発、生活支援サービスの担い手である住民の社会参加の支援を生活支援コーディネーターがサポートし、取り組む事業です。 互近助サービスちょこすけの登録団体を増やすため、生活支援コーディネーターと連携し、立上げ支援に取り組みます。 第1層協議体、第2層生活支援コーディネーター連絡会をとおして、フレイル対策や社会資源の創出に取り組みます。	活動団体数 R6：20団体 R7：22団体 R8：24団体	互近助サービスちょこすけの登録団体は12団体となり目標達成には至らなかったが、生活支援コーディネーターとの連携強化を図り、地域住民のニーズに応える活動ができるよう内容の充実を図った。	互近助サービスちょこすけの登録団体数は目標達成には至らなかったが、生活支援コーディネーターとの連絡会を実施するなどして強化を図り、実際に生活支援コーディネーターからつながった依頼が出てきている。	―
1303　高齢者見守り支援ネットワークの充実【在宅支援係】	高齢者人口の増加とともに、高齢者の単身世帯数や高齢者夫婦世帯数の割合も増加しています。さらに、地域のつながりの減少や家族関係の希薄化など、地域の支え合い機能も低下しつつある状況において、高齢者の見守りは、地域包括ケアシステムの一翼を担う重要な取組といえます。 高齢者見守り支援ネットワークは、虐待、徘徊、孤立死等の高齢者の異変を早期に発見するとともに、フレイル、認知症、ひとり暮らしなど地域の中で孤立しがちな高齢者を地域全体で見守り、支え合う仕組みです。 複数の目で見守る仕組みである協力事業所やふれあいサロン、地域独自の見守り方法など、多種多様な見守りネットワーク体制の充実を図るとともに、1対1の見守り体制を引き続き充実させます。 また、見守り支援ネットワーク事業の一環として、AI・IoT等の先端技術を用いた見守りシステム、スマホ・タブレットを活用した地域単位での見守り方法も検討します。	対象高齢者数 R6：80人 R7：85人 R8：90人 見守推進員数 R6：180人 R7：185人 R8：190人 協力事業所数 R6：480か所 R7：485か所 R8：490か所	R6 達成状況指標 ○ 見守り推進員、協力事業所数ともに目標達成とならなかったが、見守りを希望する高齢者数は、目標値を超え、希望する方に対して、1対1の見守り体制を整えることができた。 多種多様な見守りネットワーク体制の充実を図るため、地域独自の見守り方法を検討し、地域包括支援センターごとに、取組み目標を掲げた。	R7 達成状況指標 ○ 見守り推進員、協力事業所数、見守りを希望する高齢者数それぞれ目標達成とならなかったが、目標値をに対して数字を伸ばしていけるよう、引き続きR8年度も活動を続ける。 それぞれの地域にあった見守りネットワーク体制の充実を図るため、地域包括支援センターごとに見守り方法・目標を掲げ、市内全体の見守りの網目をかかるよう、部会等で進捗を確認していく。	R8 達成状況指標 － ―

第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-②

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱２．介護を支える担い手の確保と介護保険事業サービスの充実		柱の達成状況（計画期間）	－
柱の数値目標、指標	①介護人材確保事業の実施（雇用者数・研修受講者数）	目標値（計画期間） 雇用者数 R6：15人 R7：30人 R8：30人 研修受講者数 R6：20人 R7：60人 R8：60人	実績値（計画期間） 活動団体数 R6： 12団体 R7：-団体 R8：-団体 研修受講者数 R6：6人 R7：-人（研修未開催） R8：-人
	②資格取得支援事業の実施（資格取得者数）	目標値（計画期間） 資格取得者数 R6：60人 R7：70人 R8：80人	実績値（計画期間） 資格取得者数 R6：74人 R7：61人 R8：-人

施策の項目1：介護人材の確保

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 △	R7 達成状況指標 △	R8 達成状況指標 －
2101　介護人材確保事業の実施 【介護給付係】	介護サービスを担う職員の確保が困難になっている現状を踏まえ、介護人材の確保と育成が求められています。 介護人材の裾野を広げるため研修等を実施し、研修後は市内介護事業所への雇用を促進させ、人材確保につなげます。 確保した人材に対しては、資格取得等によるスキルアップを促し、育成を図っていきます。また、離職防止のため、就職後もフォローアップのためのアプローチを継続し、介護分野での定着を支援していきます。	雇用者数 R6：15人 R7：30人 R8：30人 研修受講者数 R6：20人 R7：60人 R8：60人	令和６年度事業実績 前期 9月17.18日 研修受講者数　4人　雇用者数　1人 後期　12月9.10日 研修受講者数　2人　雇用者数　0人 内容：①研修2日間（生活援助の基本等）②就職相談会（市内介護事業所とのマッチング）③事業所での実習（2日間）	令和６年度まで実施していた研修は受講者が少なく人材の確保につながらなかった。 事業の見直しを行うため令和7年度は研修を実施せず、より効果的な事業について検討を行った。	―
2102　資格取得支援事業の実施 【介護給付係】	介護人材の確保が困難になっているため、介護に係る資格取得に向けて、介護の資格取得(初任者研修など）の費用補助を行っています。 補助の対象は市内事業所への勤務等を条件としているため、市内における人材確保に寄与します。 今後は有資格者の人材確保と介護の質を高めていきます。	資格取得者数 R6：60人 R7：70人 R8：80人	R6 達成状況指標 ○ 令和６年度事業実績 介護資格取得補助金支給者数 介護職員初任者研修　17人 介護福祉士実務者研修　38人 介護福祉士資格試験　18人 介護支援専門員試験　1人 合計　74人	R7 達成状況指標 ○ 令和７年度事業実績 介護資格取得補助金支給者数 介護職員初任者研修　12人 介護福祉士実務者研修　26人 介護福祉士資格試験　19人 介護支援専門員試験　4人 合計　61人 申請者の中には資格をステップアップしている方も多く、市内の介護人材の継続的な確保につながっている。	R8 達成状況指標 － ―

第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-③

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱３．高齢者のフレイル予防と介護予防の推進		柱の達成状況（計画期間）	－
柱の数値目標、指標	①地域介護予防活動支援事業の推進（地域介護予防新規活動団体数）	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		地域介護予防新規活動団体数 R6：1団体 R7：1団体 R8：1団体	地域介護予防新規活動団体数 R6：2団体 R7：0団体 R8：-団体

施策の項目1：フレイル予防の推進

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ◎	R7 達成状況指標 ◎	R8 達成状況指標 -
3105　介護予防・フレイル予防普及啓発事業 【在宅支援係】	高齢者の生活機能が低下しないよう介護予防・フレイル予防に資する基本的な知識の普及啓発や運動を始めるきっかけづくりを目的とした体操教室や講座等を開催します。また、オンラインや動画を活用し、自宅で介護予防・フレイル予防を実施できる仕組みを合わせて実施します。	－	介護予防教室を、12会場で15回（合計180回）開催。延べ3210名の参加があった。令和5年度の2222名の参加から、大きく増加となった。介護予防に資するWeb講座（Zoomでひの筋）については、40回の配信を行い515名の参加があった。	介護予防教室を、12会場で各12回（合計144回）開催。延べ2712名の参加があった。また、今年度は健康課との連携により、教室内で専門職による講話を実施した。介護予防に資するWeb講座（Zoomでひの筋）については、40回の配信を行い426名の参加があった。	－
3106　地域介護予防活動支援事業の推進 【在宅支援係】	現在活動している団体の活動継続及び新規団体の増加を促すため、動機づけとなる企画や仕組みづくりが必要となります。フレ筋アップ教室等、市の運動事業へ参加した市民への呼びかけを強め、新規団体数の増加及び活動参加者数の増加を狙います。また、既存団体の活性化を図っていくため、専門職との連携を強化して既存団体へ派遣する回数を増加させます。	地域介護予防新規活動団体数 R6：1団体 R7：1団体 R8：1団体	R6 達成状況指標 ○ 地域介護予防新規活動団体2団体が新たに登録した。また、専門職の派遣を9回実施した。 新規団体の立ち上げ支援と既存団体の活性化を図ることができた。	R7 達成状況指標 ○ 地域介護予防活動団体の新規立ち上げはなかったが、既存団体の支援に力を入れ、年間延べ50回以上の支援を行うことで活性化を図ることができた。	R8 達成状況指標 - －

第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-④

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱４．在宅療養体制の推進		柱の達成状況（計画期間）	－
柱の数値目標、指標	①在宅療養高齢者支援相談窓口の充実（利用者数）	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		利用者数 R6：1,200人 R7：1,200人 R8：1,200人	利用者数 R6：1,458人 R7：1,011人 R8：-人

施策の項目1：患者やその家族を取り巻く療養環境の整備

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6　達成状況指標　◎	実施事項及び実績値 R7　達成状況指標　○	実施事項及び実績値 R8　達成状況指標　－
4101　在宅療養高齢者支援相談窓口の充実 【在宅支援係】	在宅療養高齢者支援窓口は、在宅療養に関する相談や情報提供を行い、４つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）に必要な関係機関との連携・調整などを行う窓口です。 在宅療養患者やその家族が安心して在宅での療養生活を継続できるよう、関係機関と連携・協力し、在宅療養患者等への支援を行います。	利用者数 R6：1,200人 R7：1,200人 R8：1,200人	1,458人の相談利用があった。 医療と介護の関係機関と連携し、在宅療養患者やその家族が安心して在宅での療養生活を継続できるよう支援を行った。	1,011人の相談利用があった。 医療と介護の関係機関と連携し、在宅療養患者やその家族が安心して在宅での療養生活を継続できるよう支援を行った。	―

第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-⑤

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱５．認知症の人とその家族を「共生」と「予防」の両面で支える仕組みの充実		柱の達成状況（計画期間）	－
柱の数値目標、指標	①認知症サポーターの養成（認知症サポーター数（延べ数））	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		認知症サポーター数（延べ数） R6：24,000人 R7：25,000人 R8：26,000人	認知症サポーター数（延べ数） R6：23,980人 R7：25,342人 R8：-人
	②認知症当事者及び介護者の交流を通した認知症バリアフリーの推進（本人ミーティング開催回数）	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		本人ミーティング開催回数 R6：7回 R7：7回 R8：7回	本人ミーティング開催回数 R6： 12 回 R7：12回 R8：-回
	③チームオレンジの設置（チームオレンジ設置数）	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		チームオレンジ設置数 R6：1か所 R7：2か所 R8：2か所	チームオレンジ設置数 R6： 2 か所 R7：2か所 R8：-か所

施策の項目1：認知症の早期診断、早期対応及び相談体制の充実

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
5101　認知症の人や家族を支える医療と介護の連携 【在宅支援係】	認知症が今後更に増加していくという将来予測を踏まえ、認知症の早期発見、早期介入や適切な医療及び介護の提供体制の確立が求められています。 「認知症対策推進会議」にて事業の検討や方向性の確認など、関係機関の円滑な連携に向け推進していきます。 引き続き、医師会や地域連携型認知症疾患医療センターとの連携強化に取り組み、「もの忘れ予防検診」や認知症初期集中支援チームによる訪問活動など早期発見の体制を推進していきます。 併せて認知症に関する正しい知識や対応の仕方など普及啓発を進めます。	－	認知症初期集中チームでは、９名の支援対象者（令和５年度より継続含）について、延べ36回の訪問を実施。 もの忘れ予防検診では、594名の受診があり、94名について、要精密検査となった。 当事者用・一般用のケアパスを作成し、認知症に関する正しい知識や対応の仕方など普及啓発を行った。	認知症初期集中チームでは、９名の支援対象者（令和５年度より継続含）について、延べ41回の訪問を実施。 もの忘れ予防検診では、519名の受診があり、93名について、要精密検査となった。 当事者用・一般用のケアパスを作成し、認知症に関する正しい知識や対応の仕方など普及啓発を行った。	－

施策の項目2：認知症の周知啓発と共生への理解促進

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ◎	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
5201　認知症サポーターの養成 【在宅支援係】	認知症の人が住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けていくためには、地域や職域などで認知症への理解を深めてもらうことが重要です。 認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。認知症であっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができるよう、認知症サポーターの養成を更に推進し、認知症高齢者にやさしい地域づくりを進めます。	認知症サポーター数（延べ数） R6：24,000人 R7：25,000人 R8：26,000人	認知症サポーター延べ数は23,980人となり、目標値に若干届かなかったが、小中高、大学等の学生から企業、一般市民など、様々な対象者1043名に対して、認知症サポーター養成講座を実施し、地域や職域などで認知症への理解を深めてもらうことができた。	認知症サポーター延べ数は25,342人となり、計画値を上回った。小中高、大学等の学生から企業、一般市民など、様々な対象者1,362名に対して、認知症サポーター養成講座を実施。受講対象者の裾野も広がっている。	－

施策の項目3：認知症当事者及び介護者への支援

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ◎	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ◎	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
5301　認知症当事者及び介護者の交流を通した認知症バリアフリーの推進 【在宅支援係】	認知症当事者を介護している家族が、ご家族同士の交流を通じて、様々な問題や悩みなど日頃の思いを語り、介護のヒントと安心感を得られる「家族介護者交流会」や認知症当事者も参加できる「オレンジ広場（認知症カフェ）」「本人ミーティング」を地域で実施していきます。 また、これらの場に地域の中で孤立しがちな認知症の人や家族もいつでも気軽に参加できるようにし、専門家への相談や地域の人との相互交流を通して介護負担の軽減や悩みを解消できるよう取り組んでいきます。 さらに、支援者が当事者の意見を聞くことで認知症の人がより暮らしやすい地域づくりを進めます。地域で支え、見守る体制作りを進めます。	本人ミーティング開催回数 R6：7回 R7：7回 R8：7回	家族介護者交流会を35回開催し、延べ235名の参加があった。本人ミーティングを12回開催し、当事者・家族延べ78名の参加があった。オレンジ広場（認知症カフェ）は市内9か所で開催されている。 認知症の人や家族が気軽に、専門家への相談や地域の人との相互交流を通して介護負担の軽減や悩みを解消できるよう取り組みを行った。	家族介護者交流会を36回開催し、延べ148名の参加があった。本人ミーティングを12回開催し、当事者・家族延べ79名の参加があった。オレンジ広場（認知症カフェ）は市内9か所で開催されている。 認知症の人や家族が気軽に、専門家への相談や地域の人との相互交流を通して介護負担の軽減や悩みを解消できるよう取り組みを行った。	－
			R6 達成状況指標 ◎	R7 達成状況指標 ◎	R8 達成状況指標 －
5302　チームオレンジの設置 【在宅支援係】	認知症の人や家族を地域全体で見守り・支えていくためには、その担い手となり得る人材を育成し、地域で活躍してもらう仕組みづくりが必要です。 チームオレンジは、認知症サポーターの活動をさらに前進させ、地域で暮らす認知症の人やその家族の支援ニーズと認知症サポーターを結びつける取組です。 認知症の人やその家族を支える地域の担い手となる人材を養成し、支援ニーズと結びつけることで、認知症の人がより暮らしやすい地域づくりを進めます。	チームオレンジ設置数 R6：1か所 R7：2か所 R8：2か所	令和6年中に2か所目のチームオレンジが設置できた。認知症の人やその家族を支える地域の担い手となる人材を養成し、支援ニーズと結びつけ、認知症の人がより暮らしやすい地域づくりを進めた。	チームオレンジの設置数は横ばい。関係者の参加する部会にて、今後のチームオレンジの拡充、発展に向けた協議を深めた。	－

第５期日野市高齢者福祉総合計画進行管理表

資料１-⑥

・施策の柱の達成状況：計画終了後に総括いたします。

・重点事業：各年度ごとで協議会にて進捗状況を管理いたします。

・その他の個別事業：事務局にて進捗状況を管理し、必要に応じて協議会へ報告いたします。

施策の柱の達成状況指標
◎　進んだ　　：例年と比べて著しく進捗した、または事業が完了した
○　やや進んだ　　：数値・事業内容に進捗がみられた、または事業が着実に前進した
△　あまり進んでいない　：前年度と同様の事業内容であった
×　まったく進んでいない：該当事業に着手しなかった

柱６．高齢者が尊厳を保持し、いきがいを持って安全に・かつ安心して暮らせる支援の充実		柱の達成状況（計画期間）	－
柱の数値目標、指標	①災害時及び災害に備えた地域での避難行動要支援者の支援体制づくり（名簿登録同意者数）	目標値（計画期間）	実績値（計画期間）
		名簿登録同意者数 R6：3,100人 R7：3,200人 R8：3,300人	名簿登録同意者数 R6：3,186人 R7：2,694人 R8：-人

施策の項目５：災害対策

重点事業及び担当	概要及び方向性	目標値	実施事項及び実績値 R6 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R7 達成状況指標 ○	実施事項及び実績値 R8 達成状況指標 －
6501　災害時及び災害に備えた地域での避難行動要支援者の支援体制づくり 【在宅支援係】	災害時要配慮者である高齢者や障害者で、災害時に避難行動に支援が必要な方の名簿（避難行動要支援者名簿）に、真に避難支援が必要な方を登録し、名簿の整備を進めます。さらに、本人の同意を得た上で自治会等の地域に名簿情報を提供するとともに、高齢者を支える地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等の協力を得て、自助の意識の啓発や災害時の呼びかけ等を行い、災害時要配慮者を支援する共助の体制づくりを進めます。 また、避難行動要支援者を対象に、優先度の高い方から個別避難計画を作成していきます。作成に当たっては、関係機関と連携し、実効性のある計画となるよう努めていきます。	名簿登録 同意者数 R6：3,100人 R7：3,200人 R8：3,300人	避難行動要支援者名簿については、対象者の増加とともに、登録者が増加している。 個別避難計画の作成数は、R6年度末時点で45件となっており、作成件数が伸び悩んでいる状態であるため、令和7年度より、ケアマネージャーによる作成が可能になるように、制度整備を行た。	避難行動要支援者名簿については、対象者の増加しているが、名簿登録同意者は減小している。 個別避難計画の作成数は、R7年度末時点でR6年度件数と合わせ、132件となっている。 令和7年度はケアマネージャーによる作成を実施したことで年間作成件数が増加した。	－